

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	黒石市			代表者名	高樋 憲
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部広報情報システム課	連絡先電話番号	0172-52-2111
担当者役職	主事	担当者氏名	三浦 航太	連絡先E-mail	
住所	036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「DX推進員」の配置
概要	DX推進の担い手を育成するにあたり、DX推進の考え方や方向性について助言をいただきながら、意見交換の場を設けたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月23日	支援・助言(実地)	10時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	360
2-2. 派遣場所	会場名	黒石市役所わのまちセンター1階 イベントホール		最寄駅	黒石駅
	所在地	青森県黒石市大字市ノ町2-1		最寄駅からの交通手段	タクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修テキストがわかりやすく、何をすべきかがまとまっており、テキストを見ながらブレインストーミングに取り組むことで、頭と体で手法を学べる構成となっていた。また、組織の問題点を洗い出すという抽象的なテーマであったが、適宜例題を紹介しており、具体的にイメージしながら学べる構成となっていた。
アドバイザーへの要望事項	今回浮彫りになった問題点・課題の精査、アウトプットの検討・整理などが今後の課題として残っていると認識しており、次回以降の機会にご指導いただければと思っております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	27人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	27	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		DX推進に当たって、まず何に取り組むべきかが不明である。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		DX推進の担い手が、DX推進の方向性を見誤らないよう、知識を習得させる。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	問題提起、課題の分類分け、課題の解決策の考察方法について、ECRSを活用した手法を講義形式で講演いただいた。また、ワークショップを通じて、受講者にECRSを用いて、問題提起、課題の分類分け、課題の解決策の考察を実施させ、DXの初期段階にやるべき取組を支援いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上記の手法を学び、体感することで、今後のDXの取組の足掛かりになる問題点の洗い出しができるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 成果には繋がっていないが、組織に対する問題点を浮き彫りにすることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	浮き彫りとなった組織に対する問題点を、より詳細に分析することが持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの必要性がないため、実施していない。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 問題点・課題に対するアウトプット・アウトカムの検討及び整理、DX整備目標のブラッシュアップ (推進計画の整理)、推進体制の再構築 等
4－4. 事業の最終的な目指す姿	様々なデジタル技術を活用して業務効率化・業務改善(改革)を行えるような職員の育成を目指す。 また、業務効率化・業務改善により、効率的で持続可能な行政サービスを市民に提供し、市民満足度を向上させるとともに住民の幸福につなげる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

